

西之表市多世代交流施設整備基本構想・基本計画(案)に関するパブリックコメント実施結果

意見募集結果及び寄せられた意見に対する市の考え方について、次のとおり公表します。

【意見募集期間】 令和7年1月25日(土) ~ 令和7年2月24日(月)

【意見提出の状況】				(件数)
直接持参	郵便	F A X	メール	計
3			2	5

【意見の概要と市の考え方】

	意見の概要	市の考え方	意見への対応 (素案への反映)
①	【トイレの設置場所と数について】 2、3歳児はオムツをしていることもあり、オムツを交換するにしても靴を脱いでズボンも脱いで、手を前の床についておしりをつきだす姿勢になっています。なので、荷物置き場や手が床につけるような衛生面に配慮した広々として広さを好みます。また、図書館や本屋に行った際に、大便をしたい現象が多いので、図書館の近くにもトイレがほしいです。	本施設内のトイレ設置場所と数については、今後の設計・建設段階において協議し、各整備機能ごとの利用者特性を考慮しながら設定するほか、衛生面や利便性についても考慮しつつ仕様を決定する見込みです。 なお、本案のP21の表に記載の、子育て支援センター内の授乳室(20㎡)については、「おむつ交換台(2台)」や「カーテン付き授乳スペース」、「温水器付きシンク」の整備を想定した場合の標準的な面積として設定しています。	
②	【わたり廊下について】 駐車場から車をおいて施設に入館するというイメージをしたときに、幼児と手をつないでいます。雨天の時、手をつないで傘をさして荷物を持ってというのはとても大変なので、わたり廊下があれば少しでも濡れずにそして安全に施設に入館できるのではと感じました。	雨天時の利用者の安全性と利便性に考慮した施設計画という視点で、今後の検討の参考にさせていただきます。	
③	【靴の脱ぐのかどうかについて】 もし、靴を脱ぐのなら、幼児やお年寄りのためにも椅子などが近くにあれば脱いだり履いたりしやすいのではと感じました。	本施設の運営・維持管理上の配慮事項として、今後の検討の参考にさせていただきます。	
④	【面積について】 雨天のときに子供たちが遊ぶ場所が少ないというアンケート意見もあるので、勝手ながら遊び場の面積が狭く、逆に、各種相談室が広いのではと感じました。	ご意見の通り、雨天時の子どもの遊び場については多くの市民から声をいただいているところであり、「みんなの居場所となる施設づくり」を目指す本事業のコンセプトからも、十分な面積の確保が必要であると考えています。そこで本案P21の表にある面積算定に際しては、まず本市の0歳～12歳の人口からピーク時の利用者数を推定し、次に親子連れによる利用も加味した標準的な基準面積を用いて最低限の必要面積を算出した上で、その1.5～2.0倍の面積を要求するものとして設定しています。 各種相談室については、様々な相談や一時的な子どもの静養室としても活用可能なスペースとして4室程度を整備する方針としており、標準的な面積として4室合計で100㎡と設定しています。 子どもの遊び場と各種相談室の面積算定の考え方については上記のとおりですが、他の機能の面積設定も含め、これらは現時点の想定値であり、今後の設計段階において、さらに効果的な配置や適正規模について精査するものとしています。	今回いただきましたご意見については、基本設計や実施設計、建設の各段階において本事業を検討する中で協議し、今後の施設整備に向けた参考にさせていただきます。
⑤	【カフェについて】 案でもカフェで採算をとるのが難しいと記載されているので、飲み物や軽食の自販機を設置して飲食スペースにしたらどうかと感じました。	ご意見の通り、カフェについては民間事業者等から採算面での課題が挙げられている一方で、運営方法によっては可能性があるという声も把握しています。また、飲食コーナーへの自動販売機等の設置については、他自治体の類似施設における実施例を確認しています。 以上のことから、本案では様々な可能性を考慮しつつ、今後の運営方針の検討の中で協議することを考えています。	
⑥	【配置計画(P22)について】 多世代交流施設については、イメージ図通り、鉄砲館側に配置する案に賛成です。 (理由) ①鉄砲館や市役所、商店街が近く、徒歩で訪れる利用者(近隣の人々や観光客等)にとって便利だと思います。 ②高台にあり、市街地や海、島々を見ながらその素晴らしい景観を楽しむことができます(いやし空間の創出も可能)。できれば、簡単な展望施設が設置できればと思います。	本施設の設計上の配慮事項として、今後の検討の参考にさせていただきます。	

⑦	<p>【各機能配置の考え方(P23)について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備や換気設備は勿論のこと、騒音や振動対策にも十分ご配慮いただき、静かで快適な空間の中で読書が進められるようにして欲しいです。 <p>聞くところによりますと、現在勤労青少年ホームでは、太鼓や踊り等の練習も行なわれているようです。多世代交流施設が完成したら、太鼓や踊り、卓球等も実施されることになると思います。また、子どもたちの歓声や物音も気になります。</p> <p>⑦ 閉架書庫については、貴重な郷土資料や希少性の高い書物を保管・利用提供することになりますが、現図書館では図書館員が少ないことにより、完全閉架ではなく、利用者が実際に書架に入り本を探したり直接手に取ったりしています。資料の紛失や破損、盗難も危惧されます。職員の増員と何らかの防止策を講じて欲しいと思います。</p>	<p>【1つ目のご意見に対して】</p> <p>ご意見の通り、勤労青少年ホームの現在の利用状況については、太鼓や踊りの練習・卓球等の実施があることを所管課のヒアリング等から把握しております。本案ではP19において、市民レクリエーション(多目的スペース)での当該利用を想定しており、本施設への集約化に際しては、図書館など他の機能への影響を考慮するものとして、設備面での適切な防音・防振仕様や空間配置とすることを計画しています。</p> <p>【2つ目のご意見に対して】</p> <p>本施設の運営上の配慮事項として、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>	
⑧	<p>【運営手法の比較(p25)について】</p> <p>仮に運営を民間委託にした場合、委託費用はどの位かかるのでしょうか。</p>	<p>民間委託とする場合の委託費用については、一般的に、委託する業務内容の範囲や要求するサービス水準などを検討し、民間事業者等の意向も踏まえながら適正な価格設定とするものと認識しています。また、本案P25の通り、本施設の運営手法については複数の手法を比較検討しながら決定するものと考えていることから、その過程の中で適切な人件費などの設定を基に委託費用についても検討するものとしてご理解ください。</p>	
⑨	<p>【本事業の目的について】</p> <p>現在少子化や高齢化対策として、西之表市の人口をいかに増やすか？という事がまず1番の課題だと思います。そのためには移住やUターンによる若い世代の妊娠、出産、子育てをしやすい地域にすることが大事だと考えますし、本事業の目的の内容にも書かれています。</p> <p>そこで今回の図書館中心の施設がその役割を果たせるのか？というところに疑問があります。</p> <p>①私の周りの多くの方々に意見を求めましたが(産婦人科、医療センターなどの病院関係者、小、中、高校生の生徒や保護者)図書館中心の施設より、子供の屋内施設中心の施設の方が圧倒的に希望が多いのになぜ図書館中心の施設なのでしょう(アンケートの内容を見ても同様だと考えます)</p> <p>②図書館が中心になると基本的に周囲は静かにしなければならず、子供たちがのびのびと遊べなくなります。</p> <p>③図書館で静かに読書をした人、勉強をしたい人にとっても騒がしい環境になるつまりお互いにとってとても中途半端な施設であると考えます。</p> <p>④児童クラブや屋内遊び場の面積が小さく、結局は利用されにくい。</p> <p>現在の図書館内の施設についてもそういう声を多く聞きます。</p> <p>⑤現存する図書館の補強やリノベーションではだめなのか？という疑問があります。今既に存在する市立図書館や児童クラブ、子育て支援センターなどの評価が曖昧で、機能を集約する必要性の検討が不十分ではないかと思えます。建築単体で語られるのではなく、この建築を挿入することで、町全体がどのように明るく楽しくなるのか町づくりと絡めて方向性を示して頂きたいです。</p> <p>〈提案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の中の郷土資料や歴史に関する書物はリニューアルする鉄砲館に設置することで静かな環境で利用できる。 ・絵本や読み聞かせなどの子供向けの本を新施設内に置く ・結果、図書館の面積を小さくでき、その分を児童クラブや屋内遊び場の面積に充てることができる。 	<p>本事業の目的については、ご意見にもある本市が抱える課題解決を図るための様々な施策・取り組みのひとつとして本事業を位置付けたところであり、本事業だけではなく、その他の様々な施策も含めたところでの総合的な効果の中でこれらの役割を担っていくものと考えています。</p> <p>また、本案P3に記載の通り、本事業は公共施設の老朽化に伴う更新・集約化を背景としています。これについては、先行して令和6年5月に策定した「西之表市公共施設等総合管理計画 改訂版」を参照しながら、「量・質・コスト」の観点から将来の本市の公共施設全体の在り方を見直す中で、本事業計画においては既存施設の改修等よりも更新・集約化を目指すべきものとして総合的に判断した経緯がございます。</p> <p>次に、本施設への図書館機能の導入についてですが、以上のような背景を踏まえつつ、図書館だけではなく様々な機能との複合・集約化によって本事業の目的の達成を目指そうとするものです。したがって必ずしも図書館を中心機能として計画しているものではないという点をご理解ください。</p> <p>一方で、ご意見にもあります通り、図書館と他の機能との複合化の際に懸念される課題については、全国の類似施設の事例や運営事業者等へのヒアリング結果からも、空間配置や仕様などの設計上の工夫や、施設利用目的の設定、使用ルールの明確化などの運営上の配慮によって、本事業の目的を損なうことなく解決可能なものとして考えています。いずれにしても、面積設定の考え方も含め、いただいたご意見を参考にしつつ、今後の設計・建設の検討の中で精査する方針です。</p> <p>最後に、本施設整備が担うまちづくり上の役割についてですが、方向性としては本事業の目的や背景に記載の通りで考えており、今後の設計や運営方針に係る検討の中で様々な市民や専門家などのご意見等を踏まえつつ具体化していくものと考えています。また、それだけではなく、本施設が永く市民に愛される施設となるためにも、施設共用開始後も利用者や運営者など様々な主体が意見交換を行いつつ継続して検討していくべきものとして認識しています。</p> <p>なお、ご提案の内容については、本施設の設計・運営上の配慮事項として、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>	<p>今回いただきましたご意見については、基本設計や実施設計、建設の各段階において本事業を検討する中で協議し、今後の施設整備に向けた参考にさせていただきます。</p>

<p>【配置・ゾーニングの考え方について】</p> <p>①旧榕城跡地という広く、アクセスもしやすい場所であるのに、面積の半分が駐車場という使用法がもったいないと思います。災害時や非常時の活用を考えているのであれば周囲に代替できる場所はたくさんあります。</p> <p>⑥施設の中で静かな空間とにぎわい空間が隣接しているのでゾーニングは難しいと考えます。また、建物の維持管理、空調や照明等のランニングコストを考慮する場合も、1棟の大型施設ではなく、分棟配置とした方が効率的でフレキシブルな活用が可能と考えます。</p> <p>⑦図書館の専有面積が大きく、子供達が使用できる面積が小さい</p> <p>〈提案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場を立体にして、空いた面積を施設に利用する ・子供の遊び場を中心にし、その周りに大人や家族が集まれるようにする ・図書館と子供遊び場の施設を分棟とする、もしくは2階建てにし、構造的にゾーニングを行う 	<p>本案における駐車場台数と面積の考え方については、災害時利用を想定するほか、近隣の小学校におけるPTAなどの開催時や、周辺公共施設等におけるイベント開催時に駐車場が不足しているという所管課や市民の強い声を踏まえて台数を想定し、その整備に必要な最低限の面積として設定しています。ご意見の通り、今後も整備地周辺の駐車場に関する状況は変化することが想定されることから、最終的には今後の設計段階等で決定するものとしてご理解ください。</p> <p>次に、施設配置とゾーニングの考え方についてですが、建築士等の専門家によると、設計や運営上の工夫・配慮によって静かな空間とにぎわい空間の同施設内のゾーニングが可能であることや一般的には分棟形式よりも集約化された1棟の方が建設にかかるインフラコストや維持管理や更新にかかるランニングコストの両方の面で抑制できることを確認しています。ただし、設計の内容によっては例外となる可能性があるため、今後の設計者選定等の段階で幅広く事業者等の提案を募集し、本事業にとって最適な計画を採用・検討するものとしてご理解ください。</p> <p>なお、ご提案の駐車場の立体化についてですが、本案の検討過程において、整備地にかかる法令等の制限を確認したところ、整備可能台数が20台程度と少なく、整備費や維持管理費を考慮した費用対効果の観点から効果的な方策ではないと判断しています。その他のご提案の内容については、本施設の設計・運営上の配慮事項として、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>	
<p>【市民アンケートについて】</p> <p>①アンケートの回答者の約7割が50代以上。若い世代や子育て世代の意見が反映されにくいのでは。(今現在小さいお子様を育てている世代)</p> <p>②〈よく利用する施設〉では市民体育館やあっぱーらんどが多い事でも若い世代が子供たちを遊ばせる場所を探していることを反映していると考えます。</p> <p>③〈既存の公共施設に対する意見〉でも雨の日や炎天下の子供の遊び場の必要性を感じます。</p> <p>④〈多世代交流施設と一緒に整備してほしい機能〉においてもカフェや商業施設の希望が多く、子供の遊び場が中心であれば、親同士の交流やお迎えのついでに買い物や来ますが、図書館中心だとますます周りが騒がしいため利用しにくくなると思います。</p> <p>⑤ワークショップの内容をみても、今までの既存の施設の継続、移転ではなく、今までにない施設の希望が多いと思います。その点でも今回の計画は市民の意見を反映していないように思います。</p> <p>⑥西之表市人口ビジョンのアンケートでも子供の遊び場の要望、全天候型施設の要望が大変多いです。</p> <p>【要望】</p> <p>図書館中心の施設ではなく、子供の遊び場、子供の為の空間を中心に置いた施設を希望します。</p> <p>今回建物を計画するのは、西之表市のみならず、種子島における歴史的中心地区です。町の中心にありながら、緑にも囲まれ、周辺には石垣や堀切など歴史的遺構もみられます。景観や歴史的・文化的場所性の評価なくして、面積と用途のみで語られているこの基本構想・基本計画に種子島らしさを感じられず、危機感を感じます。</p> <p>西之表市、ひいては種子島が今後繁栄していくためには多くの人に「ここに住みたい」「ここで子供を産んで育てたい」と思っていたり、ただかなければなりません。種子島の歴史的・文化的中心に、子供を中心に置き、共に育む環境を整えることは、西之表市が何を大切に地域づくりを進めるのか、どんな未来を描いているのかを体現するシンボルとなり、魅力発信に繋がると考えます。</p> <p>小さなお子さんや遊び盛りのお子さんを安全にのびのびと遊ばせることが出来、かつ保護者同士も楽しくおしゃべり出来る環境があれば、子供の健康増進、保護者のストレス緩和、移住者や転居者の孤立化予防などたくさんメリットがあります。</p> <p>多くの方が移住や転居の前に種子島の事を調べると思います。その時に子育てがしやすい環境、孤立しない環境が充実していることがわかればとても安心できますし、移住や転居の後押しになると思います。</p> <p>またひいては全国からの移住希望者が増えるかもしれません。島の宝は「人」です。「子供」です。どんなに良い考えや理想も人が居なければ実現しません。今ある現状(施設)だけに焦点を当てて、今いる人たちだけのためのものを作り続けては必ず将来先細りします。これは将来に対する先行投資です。人を増やし、島の全員が豊かに暮らすためには島の未来の姿を想像することが必要だと考えます。</p>	<p>本案の位置付けについては、先行検討を経て、本市の上位計画との整合を図りながら、多世代交流施設としての本事業の目的や背景、面積や規模、その他の整備にかかる基本的事項などの方向性を整理したものであるとご理解ください。したがって、今回実施した市民アンケートや市民ワークショップについては、市民の皆様からの多様なご意見を収集し、市民ニーズの要点把握を行うとともに、多世代交流施設の整備方針として反映するポイント整理の参考とするために実施したものです。ご意見の通り、市民アンケートの回答者の年齢層については50代以上が多い結果となりました。これを受け、市民アンケート結果については年齢層毎の回答結果等も併せて分析することで、一定の年齢層のニーズに偏らないよう配慮しています。</p> <p>また、検討過程における市民ワークショップ等で市内の中高生や現在小さいお子様を育てている子育て世代、商工会青年部・女性部の皆様との意見交換等も実施しており、子どもの遊び場に対する要望も含めて、各グループごとにニーズ抽出を行なっています。</p> <p>これらの収集した意見等は、本案取りまとめの参考とするだけでなく、今後の設計・運営段階においても引き続き参照されるものとして本案末尾に資料編として付した次第です。</p> <p>ご要望の通り、本案においても、本施設の建設地が種子島の歴史的・文化的に重要な地であることを確認し、今後の子育て環境の整備や本市の魅力発信にもつながる、様々なまちづくりの一環として貢献する施設となることを位置付けています。</p> <p>また、本施設は、本案P5のランドコンセプトにも掲げているように、本市内外の子どもから大人まで多世代が集い、本市で心豊かに暮らすことを世代を超えて共に分かち合っている将来イメージを目指しています。これらの方針からも、今後の検討過程においても引き続き様々なご意見等を踏まえつつ、図書館や子どもの遊び場などを含めた多世代交流施設としての様々な機能整備を図っていきたくと考えています。</p>	<p>今回いただきましたご意見については、基本設計や実施設計、建設の各段階において本事業を検討する中で協議し、今後の施設整備に向けた参考にさせていただきます。</p>

⑫	<p>子育て支援センターについて</p> <p>(1)開所時から午前中にいらっしゃる親子が、お昼ご飯を施設内で食べることができれば、もう少し遊ばせたいという要望がありました。飲食コーナーには、持ち込みで食べることができるスペースの面積の御検討をお願いします。</p> <p>(2)利用者の多くは転動に伴い種子島に来られて、慣れない場所での子育てに不安を抱えていらっしゃる方々です。入館するときに躊躇しないよう入口で温かく迎えられるような空間を演出していただきたいです。</p>	<p>(1) 飲食コーナーについては、ご意見の通り、持ち込みで食べることができるスペースとしての整備を想定しています。</p> <p>(2) 利用者を温かく迎えられるような空間演出については、本施設的设计・運営上の配慮事項として、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>	
⑬	<p>放課後児童クラブについて</p> <p>唯一、公設民営の児童クラブであり、小学生の7～8割が榕城小学校に通っている中、現在の定数で面積が計算されていることに疑問があります。定数の見直しは必要ないでしょうか。</p> <p>女性の社会での活躍を推し進める中で、必須ともいえる児童を安心して預けられる場所としての放課後児童クラブの間口を広げることが大事だと思います。</p> <p>公設だからこそ、子どもの安心安全な場所となるようなクラブとなるように御協議いただきたいと思います。そのうえで、支援員の確保も大変なことと思いますが、ぜひ適正な定数(面積)を御検討いただければと思います。5年後は児童数も減少しているかもという心配もありますが、希望する人が利用料であきらめることがないようという願いです。</p>	<p>放課後児童クラブの定数についてですが、これは厚生労働省の基準等に基づいて定められており、現時点で基準見直しの予定が確認されないことから、本案においては現在の定数を前提に検討しておりますが、今後の実施設計完了までに見直しが行われるような場合などにおいては、見直し結果に基づく面積の再設定についても考慮が必要なものと考えます。</p> <p>また、面積の算定方法については、現在の利用状況や職員等への聞き取り結果を踏まえながらピーク時の利用人数を想定し、厚生労働省が推奨する基準に基づく最低限必要な面積として算出しており、今後の設計段階において適正な規模について改めて精査するものとしています。</p> <p>なお、本案では移転後の榕城児童クラブの面積を設備等のスペースを除いて183㎡として設定しておりますが、これは現在の面積が設備等のスペースも含めて181.44㎡であることから、将来に渡って十分に機能しうる水準にあるものと考えています。</p> <p>次に、移転後の榕城児童クラブの運営については、現在の公設民営のあり方を継続するものとして本案に位置付けています。</p> <p>その他、市の児童クラブ運営の考え方については、主管課とも共有し、今後のより良い児童クラブ運営の推進のための参考にさせていただきます。</p>	
⑭	<p>「老朽化が進む社会教育施設や子育て支援施設の再整備を核とした」とあるが、各施設は、老朽化の問題とは別に、各施設の建設当時、当時の長期振興計画を基にそれぞれが目的を持ち計画が立てられ各補助金等も活用しながら計画立案・実施・運営されてきたことと思われるが、市が「計画の推進体制(進行管理)」で述べているPDCAサイクルが、現在進行実施中の各計画・事業に関しても十分に機能しているとは実感できず、市民への公表も不十分であり、問題があると実感しています。</p> <p>今回の施設整備にあたり、対象各施設のPDCAを検証し総括したうえで課題・問題点を市民に公表し、市民に意見を募集するべきだと考えますが如何ですか。</p>	<p>今回の多世代交流施設の計画にあたっては、公共施設等マネジメントのPDCAサイクルの枠組みの中で検討を行ってきております。その中で、公共施設等の管理に関する市の基本方針を定めた「西之表市公共施設等総合管理計画」における基本原則である「施設保有量の最適化」や「施設の効率的・効果的な運営」を踏まえた中で検討を行ってきており、今回集約の対象とした各施設の現状を踏まえた課題の抽出についても「量・質・コスト」の視点から検討を進め、「集約・統合・複合化」を進めることにより課題解決を目指せると総合的に判断した経緯があります。</p> <p>御意見いただきました、「今回の施設整備にあたり、対象各施設のPDCAを検証し総括したうえで課題・問題点を市民に公表し、市民に意見を募集するべき」といった点につきましては、今回の基本構想・基本計画に対するパブリックコメントの実施や公共施設マネジメントを進めて行く中で、市民理解が深まるよう情報発信に努めてまいります。</p>	<p>今回いただきましたご意見については、基本設計や実施設計、建設の各段階において本事業を検討する中で協議し、今後の施設整備に向けた参考にさせていただきます。</p>
⑮	<p>上記のPDCAサイクルに関連して、過去の事業でも補助金の大小に関わらず、補助金を活用した事業で計画実施後の運転資金・修繕等の予算不足の問題や評価検証→改善が見られない実例があり、PDCAの概念を基に実施される事務業評価が形骸化し、手段の目的化が常態化していると実感します。</p> <p>そのような体制の中で今回のような多額の補助金を活用した事業は将来に禍根を残すと危惧します。</p> <p>今回の基本構想・基本計画もPDCAサイクルで手段が目的化しない、目的達成のためのPDCAサイクル運用ができる行政組織であるべきと考えますが如何ですか。</p>	<p>上記の回答とも重複しますが、公共施設等のマネジメントを確実に実施し、その効果を高めるためにも継続的で適切な時期にPDCAサイクルによる進捗管理が必要であることから、公共施設等総合管理計画による公共施設等のマネジメントを進めて行く中で、市民理解が深まるよう情報発信に努めてまいります。</p>	
⑯	<p>現在、他の自治体の大型公共施設計画が社会情勢の変化に伴い、当初予算が大幅に上振れしている現状がありますが、そのような状況になったときの対処・対応はどのように考えますか。</p>	<p>概算事業費については、本案P27に記載の通り、今後の物価上昇率の予測を踏まえて算出していますが、今後も実際の推移を踏まえながら継続的に確認を行う方針です。また、基本設計・実施設計・建設の各段階において、様々な事業費縮減のアイデアを積極的に検討・導入するほか、想定を超えるような著しい物価上昇等が発生した場合は、再度施設規模や各種仕様の見直しも視野に入れつつ弾力的に検討を行いながら、適切な事業推進を図るものとして考えています。</p>	
⑰	<p>ワークショップの意見の中にもありますが、住民の行政サービス施設としての役割以外にも赤尾木城跡地としての歴史的背景をフルに活用した「歴史・文化・自然・人」的なふるさとのすばらしさを再認識できる場としての機能をもたせ、島外からの来訪者・観光客との交流の場とし、月窓亭・武家屋敷住宅・城下町・港町をPRする上でも鉄砲館と一体化した核施設で、島内外の人たちが交流する西之表市の情報発信拠点となるよう切に希望します。</p>	<p>本案P9の通り、建設候補地は周辺に様々な都市機能が集積していることから、本施設の計画においても周辺他施設との連携による様々な相乗効果が期待できる立地であると考えています。ご意見の内容も含め、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>	